

～平成30年度第3回コア会議が開催されました～



平成30年11月19日（月）に「公園マネジメント会議・平成30年度第3回コア会議」が、地球市民交流センターにて開催され、16団体の出席があり、コア会議が成立しました。

「次年度以降のモリコロパーク春秋まつりについて（その3）」と題し、財源の確保が難しい今後の春秋まつりについて、第1回・第2回コア会議に引き続き、話し合われました。



平成30年度評価委員について（承認事項）

- ・評価委員の選出について事務局より説明がありました。
- ・立候補者 4 名と事務局推薦 2 名の合計 6 名を今年度の評価委員の委員とする提案が事務局より報告され、承認されました。

知ってましたか？〇〇

「GORIN ENTERTAINMENT」より活動の報告がありました。

- ・「sha-la-la 万博サンバ」の曲を流していただきました。昨年、この曲を中心にしたイベント「万博サンバフェスティバル」を開催し、今年は「シャララ万博カーニバル」に名称を変更してイベントを開催しました。
- ・たった 1 日のイベントではなく、コラボしてステージを目指すことにより新しい交流やストーリーを生みだすことを意識しています。
- ・来年はフリースタイルバスケット、高校のダンス部、和太鼓、OS☆U、総踊りなどといった団体等の「コラボ」によるシャララのステージを目指しています。



分科会活動報告

「愛・地球博記念イベント 企画運営分科会」より活動の報告がありました。

- ・秋まつりに向けた分科会を平成 30 年 6 月～10 月までの間に、秋まつり開催後の反省会も含めて、合計 4 回行った。24 団体が分科会に参加いただきました。春まつりに向けた分科会に比べると倍増し、会の盛り上げに協力いただきました。
- ・9月22日（土）、23日（日）に行われた「モリコロパーク秋まつり」について、活動紹介がありました。
- ・公園来場者は22日（土）…8,000人、23日（日）…15,000人、2日間…23,000人
- ・分科会全体で秋まつりを盛り上げる企画として、各団体の代表に普段の活動内容や出展ブースについて、ステージ上で紹介してもらいました。
- ・30 近い出展ブースを活かし、体験型プログラムに一定数参加すると景品がもらえる「たいけんスタンプラリー」を企画し、大変好評でした。
- ・秋まつり開催後に行われた反省会の意見を踏まえ、改善しながら次につなげていきたいと考えています。
- ・現在、平成 31 年 3 月 23 日（土）、24 日（日）に開催される「モリコロパーク春まつり」に向けた新たな分科会参加を募集中ですので、参加希望の方は 11 月末までに連絡をお願いします。



次年度以降のモリコロパーク春秋まつりについて

- （討議）第 2 回コア会議のふりかえり
 - ・第 2 回コア会議の討議内容についてふりかえる。
- （討議）新型春まつりのビジョンを決めよう！
 - ・第 2 回コア会議の話し合い内容を踏まえ、第 3 回コア会議の企画ミーティングで作成された「たたき台」を確認する。

■第 3 回コア会議の企画ミーティングで決めたこと【たたき台】

- 1 当面、2019年の春の催しに議論の重点をおく。（秋のことは、春のやり方が定まった後で検討する）
- 2 2019年3月30、31日の2日間を企画検討対象とする。
- 3 「回遊性」「公園全体の魅力発信」をキーコンセプトにする。
- 4 「ダンスや音楽」「自然、クラフト」「飲食」等、会員の多様な専門性を発揮する。（マネジメント会議でないと実現できない企画を目指す）
- 5 実行委員会を組織し、県とは自立した会計をもつ。
- 6 収益事業と非収益事業をバランスさせる。（2019年春のイベントでも試行的に実施）
- 7 県が主催する春まつりと実行委員会が主催する春企画は、空間とお金を区分けする。
- 8 11月のコア会議にて、実行委員会の発起人を決定する。

<意見交換>

- ・【たたき台・7】について…区分けとなっているが、前回までの話では、県が春まつりを企画し、お金が使えるのは最後なので、この機会に下準備なり経験値を上げるために一緒にやるという理解をしていたが、どうなのか。
→今年度に関しては区分けしなくてもいい。将来的には区分けを目指す/年度を越えるものに関しては予算が出ないので、実行委員会を組織し、県とは別の会計をもってはどうか/「区分け」という言葉に違和感を覚える
- ・【たたき台】4に「飲食」等あるが、出店飲食店が分科会に関わっていないのが疑問である。
→分科会ではそういった疑問の声があがらない/飲食を除く売上げに関する報告書は作っている
- ・春まつり（3月23、24日）は今まで通り行う。しかし、新たな企画の予算はないので、実行委員会を立ち上げて、飲食等出店のお金をプールし、次年度の秋まつりにつなげるのがいいのではないかと。
→新しい枠組みとして実行委員会をつくって、その中で議論してはどうか
- ・予算ゼロの中で何ができるのか、お金の集め方も含めて話し合い、お試しでやりましょうというのが、前回の企画ミーティングで話し合われたのではないかと。県の予算を使ってお試しをしましょうという話ではなかったはず。
- ・もともと春まつりは出店料を取っていないので、3月23、24日の春まつりでお金を取るのは難しい。4月初旬の桜の時期に桜のまつりを企画すれば飲食の出店によりお金を取る事ができる。
→飲食の出店に関しては通路沿いやいろんな場所で展開し、イベントにかかる費用の受け皿として実行委員会を立ち上げてお金の管理もする/実行委員会についてはマネジメント会議で承認を得ないと前に進めない
- ・春秋まつりでは出店料を取れないので、春秋まつりは予算がないことを知ってもらった上で、参加協力費という名目でお金を取ったらどうだろうか。
- ・モリコロ春まつりは予算上、3月23、24日しかできない。3月30、31日、4月上旬に桜に合わせたイベントと、春まつりの2つを開催し、その実行委員会を立ち上げる。春まつりを除くのではなく、そこも含めて考えれば来年に残せるものが増える
→イベント分科会の立場はどうなるのか/分科会に参加している全員に呼びかけて実行委員会に入ってもらったらどうか

<結論>

- ・【たたき台・1、3～6】…原案通り採択
- ・【たたき台・2及び7】…今年度は桜に合わせたイベントと、3月23、24日の春まつりの2つを開催するとし、そのための実行委員会を立ち上げる。来年度以降は、実行委員会と分科会を一本化し、内容等について検討する。
- ・【たたき台・8】…発起人は議論のメンバーでよいと思うが、組織として名乗るには段取りが必要な方が多そうなので、各々で調整後に11月中に事務局まで報告いただく。

お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当:杉山 千代子
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL:052-954-6491 FAX:052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当:吉野 真由美
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙1533-1
TEL:0561-64-1130 FAX:0561-61-2150

公園マネジメント会議 HP: http://www.pref.aichi.jp/koen/AI_CHIKYU/ParkManagement/managementHP/